

風土記の丘の花だより¹²⁹

今、そしてこれから見られる植物(2022年4月9日)

ソメイヨシノにかわって、サトザクラの仲間が咲き始めました。トイレと谷村家の間の広場のイチヨウは10日ほど前から咲いています。花の真ん中に小さな葉が一枚付いているので「一葉」です。カンザンもギョイコウもきれいに咲くことでしょう。



サクラみたいに目立ちませんが、イロハカエデにも花が咲きました。小さな花です。近づいてよく観察すると、雄花と雌花があることがわかります。雄しべが突き出ているのが雄花。左右に広がった花が雌花です。もうプロペラの赤ちゃんみたいなものができていますね。真ん中より少し右よりに一輪咲いているのがわかりますか？それが実になります。



サルトリイバラも花を咲かせています。今は瑞々しい若葉も展開しとてもきれいです。左は花の中から小さな雄しべがのぞいているので雄花です。右は真ん中に丸い雌しべが見えるので雌花です。とげとげに注意して観察してください。これは万葉植物園で撮りました。葉はこれから広く大きくなり、柏餅を包むのに使われます。



ヤマモモにも花が咲いています。左が雄花、右が雌花で、赤っぽい小さな花が咲いています。(厳密には花ではありませんが・・・)ヤマモモの花といえば左側をイメージしますよね。でもこの花が咲いた木には実がなりません。じつは進入路のヤマモモの幹には1本ずつ小さく♂♀の記号をマジックで書いています。それも探してみてください。



ムラサキケマンの花もたくさん咲いています。この花は花期が比較的短いですが、20センチ余りの丈があるのでよく目立ちます。花は細長く薄紫色ですが、先だけが濃い紫色で、それが幾つもかたまって咲いています。花の後には細長い実ができますが、中の種子にはアリが好む成分が含まれていて、アリがせっせと運んで分布を拡げます。 松下